

お早う「ございます」

2025.9.8 校長 西谷 秀幸

(マック博士の紹介)

校長先生は毎朝、校門で「おはようございます」と挨拶をしています。でも、ちょっと考えてみてください。お昼になると「こんにちは」と挨拶をしますが、「こんにちはございます」とは言いません。夜に「こんばんは」と言いますが、「こんばんはございます」とも言いません。

一体なぜ、「おはよう」にだけ、「ございます」という丁寧な言葉が付くのでしょうか。それは、「おはようございます」だけが、他とは違って、特別な挨拶だからなのです。

「おはようございます」という挨拶は、この「歌舞伎」から始まったと言われています。「歌舞伎」とは400年くらい前に始まった日本の伝統的なお芝居で、派手な服装とお化粧が特徴です。

ちなみに、この人は、13代目の市川團十郎という歌舞伎役者です。テレビなどで見たことがある人もいるかもしれません。

市川團十郎というのは、今から360年くらい前の江戸時代に歌舞伎の世界で大スターになった人で、その名前が代々引き継がれてきて、13代目の市川團十郎というわけです。

この歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧をして、派手な衣装を着るので、準備に時間がかかります。だから、お芝居が始まる時刻より、かなり早く芝居小屋にやってきました。

そのとき、芝居小屋で働いている「楽屋番（がくやばん）」という裏方の人たちが、役者さんたちに対して、「いつもお早うございますね」と声を掛けていたのです。これは「本番が始まるまで、まだ時間があるのに、いつも早く来て準備して大変ですね。御苦労様です。」という意味です。

つまり、この「お早うございますね」という言葉は、「挨拶」というよりは、相手を大切に「思いやり」の気持ちが強く含まれた言葉かけだったのです。そして、この「お早うございますね」が、いつしか「おはようございます」に変化したと言われています。

挨拶は、「こんにちは」とか「さようなら」とか、たくさん種類がありますが、その中でも、特に「ございます」が付く「おはようございます」という挨拶は、他の挨拶とは違って特別な意味をもつ特別な挨拶なのです。

では、どうしたら、「おはようございます」を言うときに、「相手のことを大切にする思いやりの気持ち」を伝えることができるでしょうか。

毎朝、校長先生が校門のところで「おはようございます」と挨拶すると、皆さんも「おはようございます」と挨拶をしてくれますね。

でも、挨拶はしてくれるけど、ペコって頭を下げるだけの人だったり、挨拶をする声が小さかったり、聞こえなかったりする人が何人もいます。

中には、友達と話したりしていて、校長先生が「おはようございます」と言っても目の前を黙って通り過ぎていく人も結構いるのです。とても残念です。

校長先生は、去年、板五小に来て「板五小は、なんて挨拶が素敵な学校なんだろう…」と思っていたのに、この頃、そういう姿が減ってきて、特に、2学期が始まった先週の1週間は、残念な気持ちでいっぱいでした。

反対に、毎日、素敵な挨拶を自分からしてくれる人もいます。そのうちの一人を紹介します。【動画】(3年生の〇〇くんです)

このように、元気で、笑顔にあふれ、自分から先に、気持ちの良い「おはようございます」を言ってもらえるととても嬉しい気持ちになりますね。「おはようございます」から、「相手のことを大切にする思いやりの気持ち」が伝わってきます。

みんながみんな、同じような挨拶をする必要はありません。人それぞれ、違って良いのです。ですから、「おはようございます」をどんな風に挨拶をすれば「相手のことを大切にする思いやりの気持ち」を伝えられるのか、ぜひ、クラスで話し合ってみてください。

また、「ございます」が付く挨拶は、「おはよう」の他にもあります。他にも「ございます」が付くどんな挨拶があるか、これも、ぜひ、クラスで話し合ってみましょう。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

先週は、2学期第1週、お疲れさまでした。

さて、毎朝、正門前に立って挨拶をしているのですが、最近は、夏休み明けであることや朝から暑いこともあって、先週の朝の挨拶は、これまでの中でも一際、元気がないように思いました。約5分間に350名以上の子供たちが板五小の正門に一気に登校してくることもあり、自分から挨拶をする子は数えるほどしかいません。こちらが「おはようございます」と声をかえると、小さな声で返す子、頭だけ下げる子、そして、こちらが挨拶をしても友達と話しながら目の前をスルーする子…が多いのが現状です。

これだけたくさんの人が一気に登校すると、全員に目を合わせることもできないし、自分が挨拶をしなくても他の人が挨拶をしていれば個別に声をかけられることもないからかもしれません。この傾向は、その年によって多少の違いはあるものの、朝の挨拶に関しては昨年度より、厳しい印象です。しかし、廊下などで個別に合ったときや帰りには、自分から挨拶をする子も多くいるし、こちらから声をかければ多くの子が挨拶をしてくれます。

挨拶については、定期的に児童朝会で取り上げる必要があると思っておりますが、これまでの経験上、話をした直後は良くなるものの、なかなか継続できない傾向にあります。そのため、朝会では、手を変え、品を変えて話題に取り上げ、ただ「挨拶をしよう」ではなく、挨拶はなぜ必要なのか、どんな意味があるのか、ぜひ趣意説明も含めて伝えていきたいと思っております。各教室でも繰り返し話をしていただければ幸いです。

なお、朝の挨拶「おはようございます」の他に「ございます」が付く挨拶は、他にも「ありがとうございます」があります。様々な挨拶の中でも、「ございます」が付く「おはようございます」や「ありがとうございます」は特別な存在であることを、子供たちに分かってほしいと思っております。「相手のことを大切する思いやりの気持ち」を伝えるための一例として、今回は「歌舞伎から始まった挨拶」について離しましたが、他にも「元気良く挨拶」「相手の目を見て挨拶」「立ち止まって挨拶」など、いろいろと考えられると思っております。ぜひ、各クラスで話し合ったり、児童の実態に応じて補足したりしてみてください。

ちなみに、芸能界では、この「おはようございます」を朝以外にも1日のスタートに使っています。これは1日のスタートで相手（お客様）を大事にするという思いを込めて、朝・昼・夜、いつでも使うように、松竹芸能の元社長が提案したのだそうです。

【資料】 挨拶の名言

「挨拶といっても、黙礼だけの挨拶では意味がない。」

ちゃんと顔を上げて、声を出すことが肝心なのだ。」

小出 義雄 [こいで よしお] (マラソン・中長距離選手の指導者)

「私は、しつけとは押しつけだと考えます。挨拶をする、お年寄りを敬う、他人に迷惑をかけないなど、人として生きていく上での原則をしつけるのに、論理的な裏づけが必要でしょうか。」

畑 正憲 [はた まさのり/愛称は「ムツゴロウ」]

(小説家、エッセイスト、ナチュラルリスト、動物研究家)

「挨拶」とはなにか？ それは「心を開いて相手に迫る」ということである。

鈴木 健二 [すずき けんじ] (元NHKアナウンサー)